

白川ひでつぐ 市政レポート

一心太助

幕政に物申す。

長屋から幕政変える心意気

日本を回復しよう

越谷再生へがんばる越谷から

がんばろう越谷

No.80 発行日:2021年1月



市長提出議案への質疑で明らかになった“コロナ禍”の課題

T これまでの延長線ではない

コロナ禍が明らかにした、これまでの社会の脆弱性
令和3年度から10年間のまちづくりの基本指針や重点事業等を決定する「第5次越谷市総合振興計画」が議決されました。

これまでの40年間にわたる、越谷市でのインフラ整備や各種公共サービスの実績を踏まえ、これからの超高齢化社会や人口減少時代に対応するため、SDGsの指標を組み込む事が今回の特徴となっています。

更に、世界を震撼させているコロナ禍をどう受け止めるのか、これからの町づくりの基本戦略に大きな影響を及ぼします。

それは一過性のイベント(ワクチンや薬によって収束する)とするのか、これまで30年間にわたる新自由主義によって更なる貧困と格差を広げた“くらしといのち”の問題として捉えるか、大きな違いが出て来ます。

白川's ポイント!

今回の振興計画では、今後最も重要視されるべきエッセンス労働を基軸とする社会構造への転換の視点が、残念ながら弱くなっています。

医療、介護、福祉、教育、保育、流通(食料等)、清掃、公共サービス等そもそも市場経済にはなじまない分野こそが今後集中して行く領域として市民と共に担っていく指針が問われています。

この質疑に関する youtube動画はコチラ



T 機能ははたせるのか?

横並びの各部では、多様化する地域には対応出来ない

第5次総合振興計画の決定に伴い、「危機管理の強化」「行政のデジタル化の推進」等の目的のため、旧来の部や課を新設、統合することになりました。

特に新設される「総合政策部」は「南越谷駅・新越谷駅周辺地域のにぎわい創出事業」等の特命プロジェクトの総合推進を担うこととなります。

白川's ポイント!

現状でも社会構造の変化によって単一の政策や個別の担当課では、対応出来ない様々な問題が噴出しています。

例えば地域包括ケアシステムは高齢者や障害者を地域全体で支援するため旧来の縦型のサービスや組織から、横展開を図り地域の力を活用して対応しようとして来ました。

この他自殺問題についてもその発生の要因は複数であり、当然その解決策も特効薬はなく正に行政と市民と当事者によって問題を顕在化させることでしか解決できません。

様々な分野でのこの様な取組が展開され、その進捗や課題の共有化や総合調整を、今回の「総合政策部」が担当するには、約20の部が横並びの状態では指導力を発揮できないのは明確で

右へ→

す。全庁の部に対して指示、管理、報告等の権限と機能を持つ「総合政策部」設置によって実現が可能となります。

この質疑に関する youtube動画はコチラ



T 職員の増員は?

今後5年間で職員定数を83名増やす条例が否決

第5次総合振興計画策定に伴い、令和3年度から今後5年間で、現在の職員定数2985名から83名を拡大する条例が、自民党、公明党、維新等の議員の反対多数で否決されました。

高橋市政3期目で今年11月の任期満了まで1年を切りましたが、市長提出議案が初めて否決される異例の事態となりました。

これによって、本年4月1日の開所に向けて保護者や地域住民への説明会開催等準備が進んで来た大相模保育所開設が、条例否決のため保育士の配置等困難な事態に陥っています。

白川's ポイント!

公務員バッシングが、ここ30年間にわたり喧伝され、非効率や高額給与が問題視され続け、地方自治体へは本来助言しか出来ない政府からも、定数削減の数値(4,6%減)までを示して強制されて来た結果が、今回のコロナ禍への不十分な行政対応に端的に表れました。

しかし、地域で山積する複雑化、深刻化する問題に対応するため、行政の責任が大きくなって行けば行くほど正規職員の配置が必要になりました。しかし上記の理由で職員増員が難しく、やむなく会計年度任用職員(一年間の有期雇用の臨時職員)の配置で何とか補うことで対応してきています。(現状1000人を配置)

つまり、コロナ禍で明確になったケアワークの最前線には不安定な職員が配置されているのですから、正規の職員の配置に転換して行く事が、求められています。

この質疑に関する youtube動画はコチラ



T 支援策はとどいているのか

コロナ禍での市民への支援策の実態調査を実施すべき

越谷市の感染防止策として市内の飲食店を含む2605店を対象とした協力金を、一日2万円で14日間の時間短縮対応(午後10時から午前5時まで)を令和2年12月4日から17日までの期間で実施する事を決定しました。

埼玉県も同様の施策を実施するもので、平行して申請を受け付けるものです。

また、ひとり親世帯への特別給付金として令和2年12月11日時点で既に支給を受けている2264名を対象として、今回さらに1世帯5万円の支給を決定しました。

白川's ポイント!

令和2年5月の特別支給に続き2回目の支援策となりました。

両方とも、これまでのコロナ禍に対する更なる支援策となっていますが、すでに実施された支援策の効果や問題点を調査する必要があります。

これはこれまでの一般的な調査の枠組みを超えて、貧困と格差が広がり続ける市民の生活実態を正確に把握する事で、新たな支援策や改善の指標となるだけでなく、今後の社会構造の転換への基盤調査ともなります。

何よりも、市民に社会の構成員である当事者意識を涵養していく大きな取組として必須なものです。

この質疑に関する youtube動画はコチラ



I information

http://hshirakawa.net/ hshirakawa

shirakawa110@gmail.com

発行:白川秀嗣 〒343-0045 越谷市下間久里477-12
TEL&FAX 048-979-3027

※この紙面の文章はどんな人にも見やすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。

裏面へ

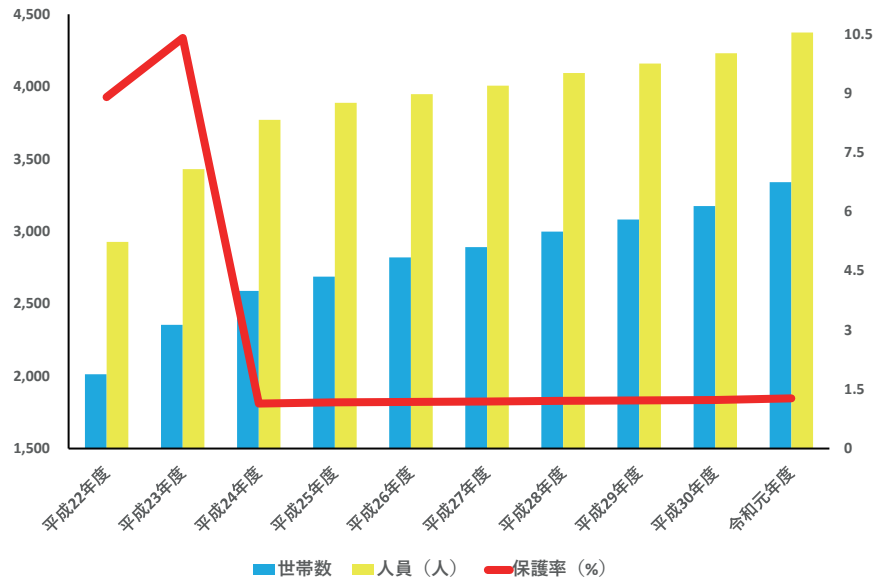
第4次総合振興計画（10年間）の取り組みの結果データ

高齢者・女性・子どもを中心に

貧困

越谷市の被保護世帯数・被保護人員・保護率の推移

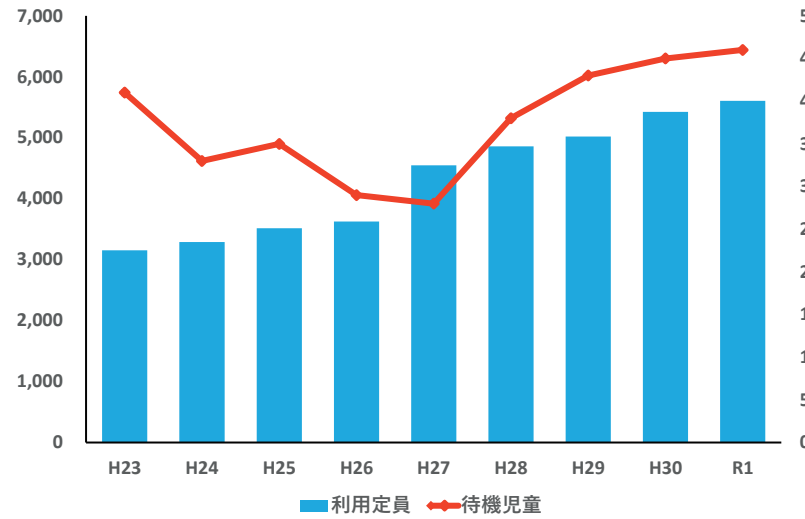
保護受給者はますます増えているにもかかわらず、保護率は横ばいの状況。つまり、より貧困が広がっている



保護者

越谷市の待機児童の推移

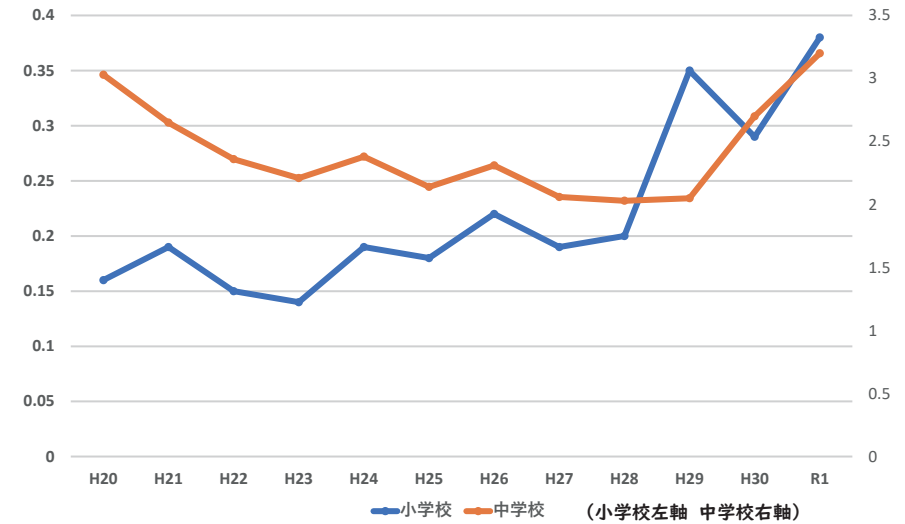
共働き世帯の増加に対して、保育所等の対応が弱い。



子ども

越谷市不登校児童生徒数の推移小学校中学校

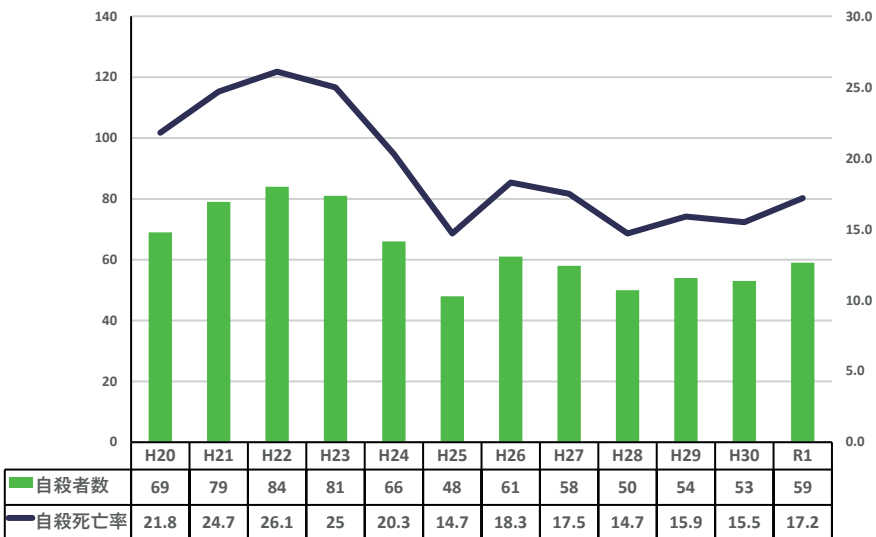
増え続ける不登校児に対して、現状の教育制度では解決できない



格差

越谷市の自殺死亡率

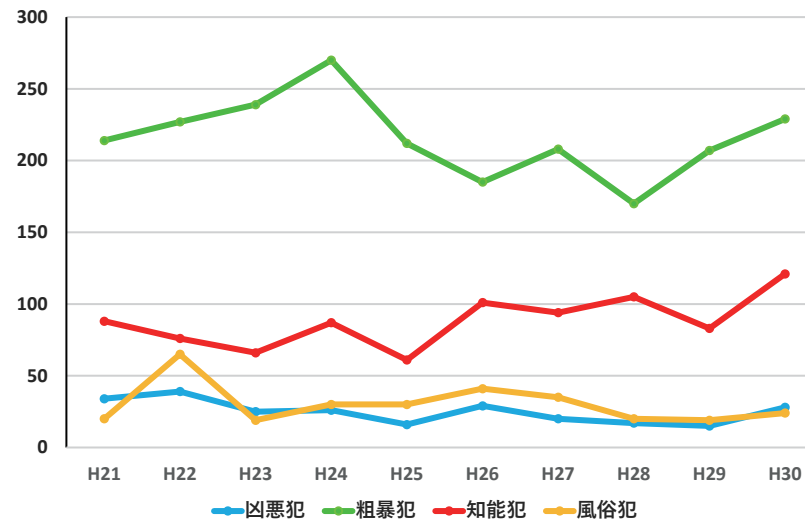
コロナ禍で若い女性の自死が急激に増えている。



犯罪

刑法犯罪種別認知件数

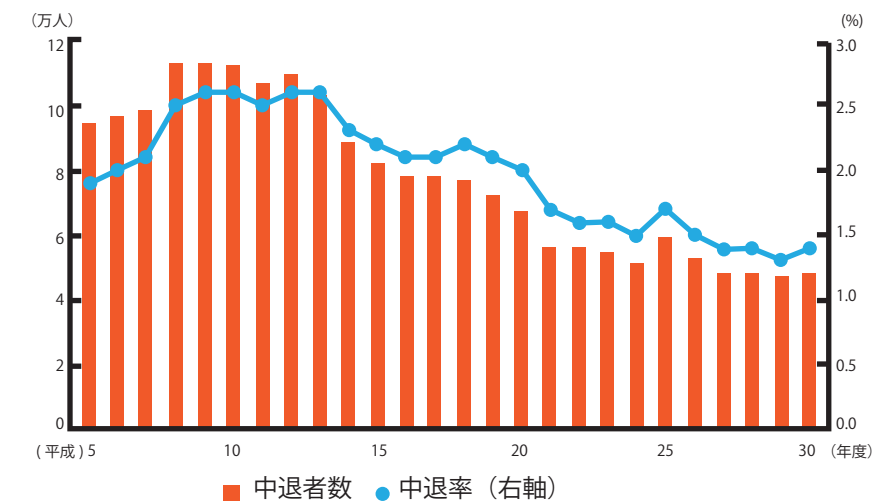
安心安全の指標である各種犯罪は増え続けている。



高校生

高校における中途退学者

経済的理由やヤングケアラー問題等で退学者が顕在化している。



文科省「児童生徒の問題行動・不登校生徒指導上の諸課題に関する調査」平成30年